

6 月度例会「丹波篠山の新しい可能性を探そう！」

グループA 小テーマ【観光】

世の中が大きく変化している昨今において、丹波篠山市の地域経済の活性の可能性を模索するため、グループワークでアイデア出しを行いました。

ここでは、そのアイデア出しの結果を掲載しています。見ていただいた方にとっての丹波篠山の新しい可能性を考えるきっかけになればと思います。

丹波篠山青年会議所一同、今の状況に負けない丹波篠山市の活性のために活動して参ります。

アイデア	意図	効果
デザイナーと陶芸家が遠隔でコミュニケーションを取り、コラボ陶芸作品を作る	オンライン会議を行うことで新しい作品を生み出せる可能性を見つける	直接顔を合わせなくても、新しい陶芸作品を作り、PRすることができる
「篠山」つながりで篠山紀信に丹波篠山をPRしてもらう	プロの写真家によるネットを通じた発信と、名前の繋がりによってPR効果を狙う	「篠山」の検索でHITしたり、プロの写真を見た人が丹波篠山に興味を持つ
観光名所になるぐらい市役所を面白い場所にする	町の中心である市役所が面白ければ話題になる	町全体が面白くなり、話題になる
丹波篠山の景色や歴史的建造物を活用しながら様々な企画で動画配信を行う Youtuberを排出する	丹波篠山の魅力を、ネットを通して配信することで、直接来なくても伝えることができる	丹波篠山の認知を広めながら、インフルエンサーとしてのYoutuberを生み出すことができる
ライブ配信で配信者に指示を出しながら丹波篠山を巡るオンライン観光	視聴者の代わりに遠隔で観光を体験してもらえる	視聴者とのコミュニケーションをとることで、オンラインでありながら満足度を高めることができる
狩猟の様子をYoutube配信	普段は見られないイノシシ猟は需要がありそう	狩りの魅力を通じて丹波篠山に興味を持ってもらうことができる
Googleストリートビューで場所表示し、地図を確認せずにYoutubeで実際にそこに行くゲーム	景色のいいスポットや歴史的背景のある場所を、ゲームを通じて知ることができる	大人だけではなく子供にも興味を持ってもらうことができ、幅広い世代に興味を持ってもらえる 紹介した場所に観光客を誘導できる
味まつりをたくさんの方でやることで3密回避。ドライブスルーでの提供も。	例年通りの開催は難しい中での対策として行う	コロナ禍でも味まつりを開催することができる
時代に逆流して、オンライン化をあえてしない	丹波篠山の魅力はやはり、実際に来てもらってわかる空気感である。新しい生活様式に配慮し、対策を十分に施した上で行えば問題ないのではないか。	オンライン化が進む中で、コロナの心配をせずに観光できる地域として、観光客の増加が期待できる
都会の3密を避けたい人のための丹波篠山3疎生活の推奨	都会のリスクを考えたときに、地方の需要が高まってきている。	丹波篠山への移住促進に繋がる
丹波篠山に30日3泊1泊の中期滞在をホームステイのような形でしてもらおう	3密を避けながらも丹波篠山の空気を感じてもらえることができる	ステイホームでのストレス解消と同時に、丹波篠山の魅力を十分に体験してもらえることができる
10月の繁忙期にホームステイを募集し、枝豆の手伝いをしながら田舎暮らしを体験してもらう		
コロナ禍が落ち着いたら行きたいところを予約することで特典を付ける予約券システム	将来への予約とそれに伴う特典を用意することで、未来への投資を行うことができる	コロナ収束後の観光客増大が期待できる
宿泊業者のスタッフの方に農業を手伝ってもらう	宿泊業界が閑散となり、農業は人手が足りないという問題がある	双方にとっての問題を解消でき、農作物の生産向上が期待できる
観光客は減るがオンラインでの通販で豆を売れる可能性を秘めている	観光客が減るので各店舗や通販の部分で多く売れる可能性も秘めている。	コロナ禍でも農業の需要を落とすことなく、外貨を獲得できる
ぼたん鍋やオリジナルレシピの食材がセットになった郷土料理セットのネット販売	丹波篠山の味覚を、ステイホームで味わってもらえることができる	普段丹波篠山に来ない人にも、食の魅力を伝えることができ、コロナ収束後の観光客増大が期待できる
丹波篠山の秋の味覚をレシピ付きでお取り寄せできるサービス		
四国や九州など、丹波の枝豆が全く知られていない土地に出稼ぎ	全国的にみたらまだ他の枝豆に負けていることもある。今年はだめだとしても、来年のために新規顧客を取りに行く。	丹波篠山の将来的なファンの獲得が期待できる